

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 7月20日更新

事務事業名		市道舗装事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	5 都市基盤の健康				所属部	都市建設部	課長名	九重浩光
	施 策	24 計画的な道路の整備				所属課	建設課	担当者名	村上浩昭
	施策の柱	67 道路環境の整備				所属班	工務班	(内線)	5257
予算科目		会計一般	款 8	項 2	目 3	事業連番 11509	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市道の再舗装する事業。生活道路の充実・拡充を図るため、路面の痛みが著しく通行者に支障をきたしている路線、箇所を維持補修、舗装打換を実施するものである。 合志市舗装維持管理計画に基づき年度毎に路線を選定、施工している。
【業務の流れ】	関係機関協議、測量設計、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払
【主な予算費目】	工事請負費
【意見や要望】	地域住民及び道路利用者から道路舗装打換の要望がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)		2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
市道の舗装打ち替えを行った。 工事費：施工延長L=8159.9m 40路線・40件		関係機関協議、測量設計、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア：施工延長(当該年度)	m	地区からあがってくる舗装整備の要望を反映し、また舗装維持管理計画に沿った道路舗装整備箇所及び工事請負費の減	
→ イ：			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市道 (H24年度以降、毎年新規認定分500mを延長する)		(単位)	
		→ ア：市道総延長	
		→ イ：	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
破損箇所がなくなり、スムーズな通行ができる		(単位)	
		→ ア：整備率	
		→ イ：	
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
H28～R2年度の5年間の目標施工延長を36,145mとする。事業進捗により整備率がわかる。			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア	m	7,077	4,202	8,327	8,157.9	8,000	8,000	8,000	8,000
	イ									
② 対象指標	ア	m	428,500	428,900	429,300	429,300	429,800	429,800	429,800	429,800
	イ									
③ 成果指標	ア	%	40	52	80	75	100	100	100	100
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円	214,900	68,400	195,500	193,000	129,100	138,900	138,900
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	入 費	一般財源	千円	30,881	18,283	14,500	16,316	15,672	22,600	22,600
		(A) 事業費計	千円	245,781	86,683	210,000	209,316	144,772	161,500	161,500
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	10	9	10	9	10	10	10
		延べ業務時間	時間	3,460	3,420	4,458	3,420	4,458	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	(B)人件費計	千円	13,687	13,481	17,760	13,553	17,760	0	0
			千円	259,468	100,164	227,760	222,869	162,532	161,500	161,500

事務事業名	市道舗装事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	--------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 舗装維持管理計画により計画的に事業を進める。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 成果は事業が完成しないと発揮できない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市道整備においては、庁舎内でも建設課のみ施工しており類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 工事積算においても、リサイクル法等の適用によりコスト削減に努め経済比較を行いながら単価等の決定を行っているので余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 コスト削減のため職員で測量設計を行っており、正職員以外の職員は担当できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 地域はもとより不特定多数の市民の通行利用する市道の整備である公正性がある。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市道は道路管理者である合志市が管理することとなっており、民間委託等はできない。

3 評価結果の総括（CHECK）

すべての要望にこたえることは物理的に困難であるが、かといって地域の要望を抑えることはできないので、必要性、地域バランスをより一層考慮しなければならない。
地域住民をはじめ近隣通行者の利便性や交通の円滑化が図られることから、必要な事業であり継続は妥当である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<